

第7回大阪大学野田村サテライトセミナー 「野田村の復興①～野田村住民アンケートから見えてくるもの～」

2013年9月11日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第7回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。震災からちょうど2年半の今回は、野田村サテライトセミナー「復興コース」を開催しました。弘前大学の李先生と東京学芸大学の山口先生を講師にお招きし、弘前大学とチーム北リアスが2013年2月に実施した『野田村のみなさまの暮らしとお仕事に関するアンケート調査』の結果について、また、今後の野田村の復興について語っていただきました。

セミナーの様子



セミナーの様子



今回のセミナーには、村長を始めとした村の復興に関わる多くの方々にご参加いただきました。また今回も遠隔システムを使用し、野田村サテライトから大阪大学人間科学部へセミナーの中継を行いました。大阪から多くの学生と未来共生プログラムの先生方に参加していただきました。

講師の山口先生



講師の李先生



今回のセミナーは「野田村住民アンケートから見えてくること」をテーマに開催されました。主な内容としては、弘前大学の李先生の震災後の現在の収入や家の修復がどの程度進んでいるのかという分析、それに伴う村民の方々の「復興感」と、そこから見える野田村の問題点の報告でした。村民の「復興感」と、村の「復興感」には差があり、村民の「復興感」の方が大きいなどの結果やそこからわかる村の現状などが報告されました。この問題について話し合った後は、もうひとつ東京学芸大学の山口先生から、アンケート自由欄に書かれた村民の声を報告していただきました。村民のたくさん声から、復興に向けた様々な「場」づくりや、女性や子どものパワーを生かすことが大切だとお話しされました。

セミナーの様子



遠隔通信の様子



セミナー終了後は、参加者のみなさまや大阪側から参加していた学生から多くの質問をいただき、今回のセミナーも充実したものであったことがうかがえました。

今回の野田村サテライトセミナー復興コースは、教室に入りきらないほどたくさんの方に集まっていただきました。ありがとうございました。野田村サテライトセミナーでは今後も様々なコースを設け、多くの方に参加していただけるセミナーを目指します。また、サテライトに導入された遠隔教育システムを存分に活用し、サテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。次回は10月11日です。